

# 平成18年度決算収支概況

## I 事業活動収支の部

### 1. 事業活動収入

#### (1) 基本財産運用収入

基本財産18億9,200万円を期間5年以内の国債、金融債、ユーロ円債等の有価証券にて運用し、基本財産運用収入は1,460万円（予算比140万円減）となった。

予算比140万円減の要因は、平成18年9月満期到来のユーロ円債10億円を、金利リスク分散のため今後各年度均等に元本を期日到来させるべく、即再運用せず段階的に運用したため、今年度中に約200万円の運用収入が実現しなかったもの。なお、再運用についてはタイミングを勘案しながら行い、比較的金利水準が高いもので運用でき、平成19年度以降に効果的な運用収入が確保できる見込みである。

#### (2) 寄付金収入

一般寄付金収入は、行員その他からの235万円（予算比64万円減）と（株）みずほフィナンシャルグループからの1,960万円（予算比同額）との合計2,195万円となり、予算比64万円の減少であった。

募金収入は予算どおり特別事業助成支出に見合う1,000万円である。

#### (3) 事業活動収入合計

上記収入にその他の収入〔特定資産運用収入ならびに雑収入－普通預金（一般口）ならびに（寄付金口）の受取利息収入〕6万円（予算比4万円増）を含めた事業活動収入合計は、4,661万円と予算比200万円の減少であった。

### 2. 事業活動支出

#### (1) 事業費支出

初等中等教育助成金支出は2,491万円（予算比9万円減／図書贈呈の誤差）、社会福祉助成金支出は2,500万円（予算比同額）となり、本年度事業は計画どおりに実施された。

特別事業助成金支出は予算どおりの1,000万円（みずほ号10台）となった。

その他助成は該当がなく、予算枠300万円は使用しなかった。

事業関連雑費合計は、200万円（予算比100万円減）となった。なお、社会福祉雑費より初中教育雑費に158,201円流用した。

事業雑費を含めた事業費支出合計は6,191万円と予算比409万円減少となった。

#### (2) 管理費支出

管理費は堅実な運営に努めた結果、予算比207万円減の333万円であった。

したがって、事業活動支出合計は6,524万円（予算比616万円減）となった。

### 3. 事業活動収支差額

上記収入・支出の結果、事業活動収支差額は予算比415万円減で1,863万円の支出超過となった。

## II 投資活動収支の部

### 1. 投資活動収入

基本財産の同額再運用・投資のための取崩収入20億8,436万円（予算比9億9,220万円増／期日に即再運用せず段階的運用を行ったため）、特定資産取崩収入6,000万円（予算比同額）となり投資活動収入合計は21億4,436万円（予算比9億9,220万円増）となった。

### 2. 投資活動支出

基本財産の再運用・投資のための取得支出20億8,436万円（予算比9億9,220万円増／理由は取崩収入と同様）、特定資産取得支出5,000万円（予算比同額）となり投資活動支出合計は21億3,436万円（予算比9億9,190万円増）となった。なお、固定資産取得支出（什器備品購入）30万円は発生しなかった。

### 3. 投資活動収支差額

上記収入・支出の結果、投資活動収支差額は予算比30万円増で1,000万円の収入超過となった。

## III 財務活動収支の部および予備費支出

財務活動収支ならびに予備費使用枠300万円の使用はなかった

## IV 収支差額合計

上記各部門の収支差額の結果、当期収支差額は863万円（予算比745万円減）の支出超過となった。

前期繰越収支差額3,270万円からこの支出超過額を控除した2,407万円を次期繰越収支差額として次年度に繰越計上する。

以 上